

牧島臨時議員提出資料

令和 3 年 12 月 3 日（金）経済財政諮問会議

デジタル庁

デジタル社会の実現に向けたデジタル庁の取組

デジタル臨時行政調査会

- デジタル臨時行政調査会においてデジタル原則等を確立

デジタル田園都市国家構想実現会議

- デジタル田園都市を創るためのデジタル基盤の構築

その他

- 準公共分野等におけるデータ連携、デジタル人材の育成、アクセシビリティの確保、一人ひとりのニーズに合ったサービス提供などが重要課題

デジタル臨時行政調査会・デジタル田園都市国家構想実現会議を通じて

- デジタル改革、規制改革、行政改革に係る横断的課題を一体的に検討し実行
- デジタル基盤を活用したサービスの実装を、政策を総動員して支援
 - ⇒ 国民や地域に寄り添うとともに、個人や事業者がその能力を最大限発揮
 - ⇒ 地方の魅力をそのままに、都市に負けない利便性と可能性を実現

(参考1) デジタル臨時行政調査会の目的

- 「国民や地域に寄り添う」とともに「個人や事業者がその能力を最大限発揮」できる社会をデジタルの力で実現。
- 全ての改革（デジタル改革、規制改革、行政改革）に通底する「デジタル原則」を共通の指針として策定。
- デジタル原則の下、法律、行政組織、デジタル基盤等の経済社会制度を構成する重要な要素を早急に作り直す（＝「新しい資本主義」を実現するための構造改革）。



実現すべき改革の方向性

国民と政府）/国と自治体）

⇒政府は国民に寄り添うという視点で直接結びつき、国民は政府に直接働きかけができる制度・ITシステムの構造

（デジタルの発展で可能に。実現しつつある国も）

⇒国・自治体一体のシステム構築

社会）

⇒健康・医療、教育、防災、こどもの保護、決済インフラなどの主要（準公共）分野をデジタルで転換

⇒サプライサイドベース・画一的なサービスから、デマンドベース・個別サービスへ

⇒企業や地域を越えた共通的なデータ活用基盤を整備

産業）

⇒規制改革を行い、デジタル時代に相応しいサービスが次々生まれる環境へ

人材）

⇒官民の資金の大学等への流れを強化し、企業側が専門性に応じた高い給与を支払う流れを作り、需給構造を一新

政府）

⇒人材、資金、政策形成・評価の主要な側面で抜本改革

・人材：世界レベルの人材が政府に

・資金：世界レベルのシステム構築が可能な資金方式へ

・データに基づく政策形成・評価の実現（EBPM）

(参考2) デジタル田園都市国家構想を支える デジタル基盤整備

- 地域の「暮らしや社会」、「教育や研究開発」、「産業や経済」をデジタル基盤の力により変革し、
- 「大都市の利便性」と「地域の豊かさ」を融合した「デジタル田園都市」を構築。
- 「心ゆたかな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現。

都市と地方、双方の魅力を最大限引き出す

暮らしの変革

- 子供達の未来を支える最高の教育
- ヒトを惹きつける魅力的な仕事
- 生涯を通じたゆとりと安心のある暮らしを実現

知の変革

- やる気のある地域大学・高専を中核に
- 地域の強みを生かした知見の集積
- 地域における官民学人材の好循環

産業の変革

- 次世代オフィス環境の実現
- スマート農業・医療・防災等を実装
- 地域の知と大都市を繋ぐ創業環境

Well-being: 心ゆたかな暮らし

Sustainability: 持続可能な環境・社会・経済

国・地方一体となった包括的な設計

サービス・アプローチ

Super City

MaaS

地域経済
循環型

防災
レジリエンス

スマート
ヘルスケア

スマート
ホーム

...

公共サービス基盤

APIゲートウェイと統合IDによるサービスの相互連携
認証 決済 共通機能 データ連携基盤

デジタル・インフラ

ガバメント・クラウド データセンター 公共サービスメッシュ
通信インフラ(5G・beyond 5G / 高速ネットワーク) セキュリティ

デ
ジ
タ
ル
基
盤